

一声社: TEL03-6676-2179/FAX03-6326-8150

**新刊お知らせ**

『**新聞紙・牛乳パック・おりがみでおはなし**』 藤田浩子編著 本体 1200 円  
◆10 月 18 日頃 取次搬入予定  
新刊配本・予約受付中！

**閑話休題一新・勘違い 母編①**

**噛み切れないカニ入り竹輪 編**

ヨネやんがまだ中・高校生の頃。

母が地域の婦人会だか何だかで鳥取バス旅行に行った。鳥取砂丘を見て、20 世紀ナシの梨狩りをして、土産物屋に寄って帰るという定番コース。季節的にカニは出なかったらしいが、土産物屋で……。以下、母談。

「土産物屋さんにな、色んなカニ製品が売ってたんや。折角鳥取まで来たんやから、何か買って帰ろかなと思うて探してたんや。ほんならな、一緒に行った人が『カニ入り竹輪』ちゅうのんを買わはってん。そら、おいしそうや。あれ、ええなあってお母さんも思ったわ。

その人な、帰りのバスの中で「お腹すいた〜！」言うて、買うたばかりのカニ入り竹輪の袋をバリバリ開けてな、食べ始めはってん。変わってるやろ〜。

それがな、いつまでもいつまでも『くちやくちやく』言うて噛み続けてるから、えらい気になってな〜聞いてみてん。

『そんなに硬い竹輪なん？』

そしたらなあ、ああおかしい。その人が言んや。

『いつまで噛んでも噛み切れへんし、カニの味がせえへん。カニどころか、竹輪の味もせえへんやんか』って。

『ちょっと出してみ』って口から出してもろたらな、白いねん。『何、これ？』って、

な、よう見たら、発泡スチロールやんか！

『ちょっと 안타！これ、発泡スチロールやで！食べたらアカン！』  
って急いで言うたらな、その人がな、言うねん。

『どうりで何の味もせえへんはずや。でもな、ここにな、【カニ入り竹輪】って書いてあるやん。

そやからてつきり、竹輪の穴の中に詰まってる白い奴がカニやと思てしもたがな』って。

あははは！ あ〜おかしい。土産物の竹輪が持って帰る間につぶれんように、穴の中に発泡スチロールを入れとってんや。それをむしゃむしゃ食うてなあ。お腹壊さんかったらええけど、あの人」

知り合いの笑い話として語っていたが、恐らくは自分自身に失敗談だと思われる。発泡スチロールの噛み心地の表現が、妙にリアルやったから……。

**祖母編……ベニ茶**

ヨネやんまだ小学生の頃。帰省した際、父方の祖母が言った。

「 안타、ベニ茶飲むか？」「何それ？飲んだことない」「 안타、ベニ茶も知らんのかいな。姫路には売ってないんか。アタシら、しょっちゅう飲んでるわ。ハイカラやから。ベニ茶も知らん子どもに飲ませるんはもったいないけど、まあ、しゃあない。飲んでみ」

そこでおもむろに出してきたのは、紅茶のティーバッグ。

「それ、コウチャやん。それなら、飲んだことあるわ」「 안타が飲んだのはコウチャか知らんけど、これはベニチャや。文句あるやったら飲んでもええでえ」